

This is a story originating from a small town in England.

In an open square located in the middle of the town, on a tall column, stood the statue of the Happy Prince.

The statue of the Happy Prince was coated with gold sheets, embedded with sapphires in his eyes and a ruby on the sword hilt.

One night, a swallow came to the town and stopped at the feet of the Happy Prince.

The swallow was on its way to warm Southern country, however he was separated from his friends.

“I’ve been flying all day so I think I should take a break. I’m so tired…”

The swallow was very tired and sleepy so he gently closed his eyes. Then…





5

“Oh, it’s water. Is it raining?”

Cold water drops dripped onto his head.

Then he looked up, and saw the Happy Prince was tearing up and sobbing.

The swallow was so shocked and surprised, and asked,

“What’s wrong, Happy Prince?”

The Happy Prince was staring in the distant houses and started talking.





ここは イギリスの、とある いなかの まちです。

このまちの ちゅうしんにある ひろばには

『しあわせのおうじ』 とよばれている、

おうじさまの ぞうが ありました。

ぜんしんに きんぱくが はられ、りょうめには

サファイアが、そして けんの つかには、

ルビーが はめこまれていました。

あるよる、このまちに やってきた いちわの つばめが、

おうじのぞうの あしもとに とまりました。

つばめは、あたたかい みなみの くへ

むかう とちゅうで、なかまたちと

はぐれてしまったのです。

「ふう、きょうはもう ずいぶん とんだし、

ここで ひとばん やすませて もらおうかな。

ああ、つかれた・・・」

つばめは すぐに ねむくなり、

うとうとと しはじめました。すると・・・





「あれ、つめたい。あめ かな・・・?」

つばめの あたまに、ぽつり ぽつりと、  
つめたい しずくが おちてきました。

よく みると、しあわせのおうじの ぞうが、  
りょうめいっぱい なみだを ためていたのです。

「いったい どうしたのですか、おうじさま!？」

つばめが おどろいて たずねました。

すると おうじは、じっと とおくを みつめながら  
こたえました。

